

保育科に合格されたみなさんへ

合格おめでとうございます！

4月からの大学生活スタートに向けて、ワクワクした気持ちと同時に新しい生活への不安も感じているのではないでしょうか？

保育科では、2年間という短い期間で、幼稚園教諭や保育士となるための様々な授業や実習があります。良き保育者としての将来像を抱いて入学し、それらの実現のためにコツコツと努力を続けていくことが大切です。

入学を迎える時期までには、どのような保育者になりたいのか、その実現のためにはどのような姿勢で学業や学生生活に臨んだらよいかしっかりとと考え、強い志を持って入学してください。

お知らせ

★ウエルカムセミナー

保育科では、新入生同士および教員との親睦を深め、これから学びの準備を整えるため、4月上旬に「ウエルカムセミナー」という1泊2日の研修旅行を入学直後に実施しています。詳細は、入学後のオリエンテーションでお伝えします。

★パソコン購入の推奨

保育科では、様々な授業でパソコンとインターネットを活用します。例えば、レポートの作成や課題の提出などは、ワードやエクセルを使用して作成し、デジタルデータでWeb上に提出することもあります。特に教育・保育実習指導においては、ICTの活用を取り入れており、必要不可欠なものとなっています。高校でも一人一台の端末は使用できると思いますが、まだご自分のパソコンをお持ちでない方は、ご入学を機に持ち運びができるパソコンをご購入くださいますようお願いいたします。なお、推奨するスペックのノートパソコンは、下記のURLから確認してください。

<https://college.shinonome.ac.jp/admission/successful-applicant/campuslife/>

★入学前課題について

保育科に入学するまでの間に自己学習すべきことを本学のホームページに掲載しています。課題は、入学後のオリエンテーション時に提出していただきます。下記URLから確認してください。

<https://college.shinonome.ac.jp/admission/successful-applicant/education/>

★実習参加に必要な集団感染の予防に努めている証明について
※保護者の方と一緒に確認してください。

保育科では、幼稚園教諭免許二種免許状と保育士資格取得のため、幼稚園および児童福祉施設において、2年間で合計6回の実習を実施します。実習では、子どもとその保護者、職員と関わることで、子どものこと、保育者の役割について実践しながら学びます。幼稚園及び児童福祉施設は、在籍する児童の年齢(0~6歳児)、また保護者の中に妊婦がいることを考慮し、予防接種による万全の対策で児童及び妊産婦の健康・安全の保障に努める社会的責任を負っています。その責任は実習生も例外ではなく、実習参加要件として、下記①~④の各種結果を提出し、集団感染の予防に努めている証明をする必要があります。

- ①健康診断証明書（4月に大学で実施する健康診断の結果）
- ②検便による細菌検査
- ③麻しん・風しん抗体検査結果の証明
- ④インフルエンザの予防接種（1年次の11月・12月の実習期のみ）の証明

特に、麻しん・風しんの予防・対策については、国（厚生労働省・文部科学省）から以下の(1)(2)の流れで予防・対策を実施するように通知がありました。

- (1)実習以前に麻しん・風しんに罹患したことがなく、麻しん予防接種が1回未満・風しん予防接種の接種歴がない場合、麻しん・風しん混合ワクチン（MR）の予防接種を行う。
- (2)麻しん・風しん抗体検査（血液検査）を行い、その結果抗体が十分でない場合、麻しん・風しん混合ワクチン（MR）の予防接種を行う。

★大学での麻しん・風しん抗体検査の実施について

入学後、4月に学内での健康診断時に抗体検査を実施いたします。本件について事前の
お問い合わせを必要とされる方は、以下にご相談ください。

松山東雲短期大学 保育科 089-931-6211(大学代表番号)

保健室：末廣 昌子/実習担当：岡田 恵